

映画「希望のちから」で臨床試験・治験を考える

山梨がんアクション協議会

はじめに

「山梨がんアクション協議会」とは、「山梨県新しい公共支援基金モデル事業」として山梨県のがん医療環境の向上と、2012年4月に施行された「山梨県がん対策推進条例」を広めるために発足した協議会。

この協議会は「特定非営利活動法人がんフォーラム山梨」を中心とし、山梨県福祉保健部健康増進課、甲府市歯科医師会、株式会社やまと、ドイツパンヴァルトで構成している。

この協議会では、がん対策推進条例を広く県民と共有するため、がんに対する意識啓発および山梨県がん対策推進条例の浸透を目的としたイベントや出前講座・教育現場でのがん教育出前授業等を企画・開催および予定している。

今回の事業は、山梨県立図書館及び地元高校生とのコラボにより、より広い年齢層の県民と映画「希望のちから」を通じて臨床試験・治験等を考えつつがん医療の進展や病と闘っている人たちに思いを寄せる機会とした。情報コーナーでは当会の勝層資料や山梨県におけるがん治療関係の資料を提供し、参加者にごんに関する理解を深めていただいた。

実施概要

◆実施期間 2012年12月24日 13:00~14:40

◆実施場所 山梨県立図書館2階多目的ホール

◆プログラム

第1節	オープニングセレモニー	○ 甲府一高管弦楽によるクリスマスソング等
第1部	英和高校聖歌隊・甲府一高アカペラジョイントコンサート	○ 英和高校聖歌隊によるハンドベル演奏 ○ 甲府一高アカペラによるクリスマスソング等
第2部	臨床試験に関する情報提供 映画の見所	○ ゲストによる情報提供(小澤雅之氏 内田絵子氏) ○ 映画「希望のちから」の見どころの紹介
第3部	映画「希望のちから」	○ 新しい薬や治療が実際に患者に使えるようになるまでの過程を知ることで、がん医療への関心を高める

◆参加者 90名

◆実施形式

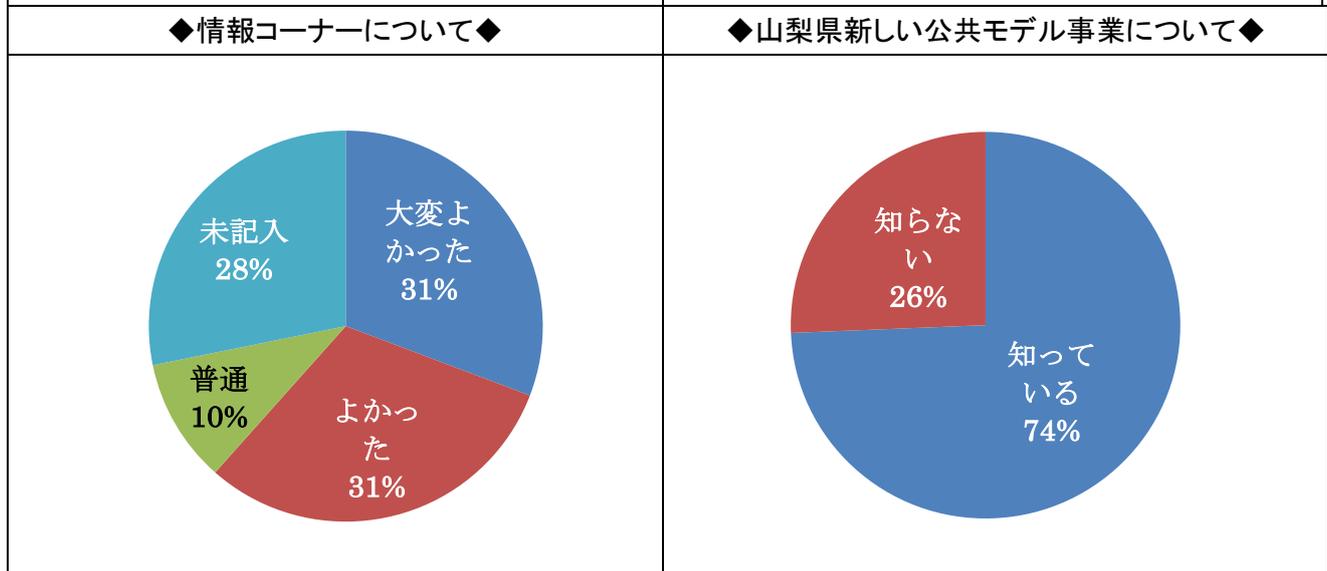
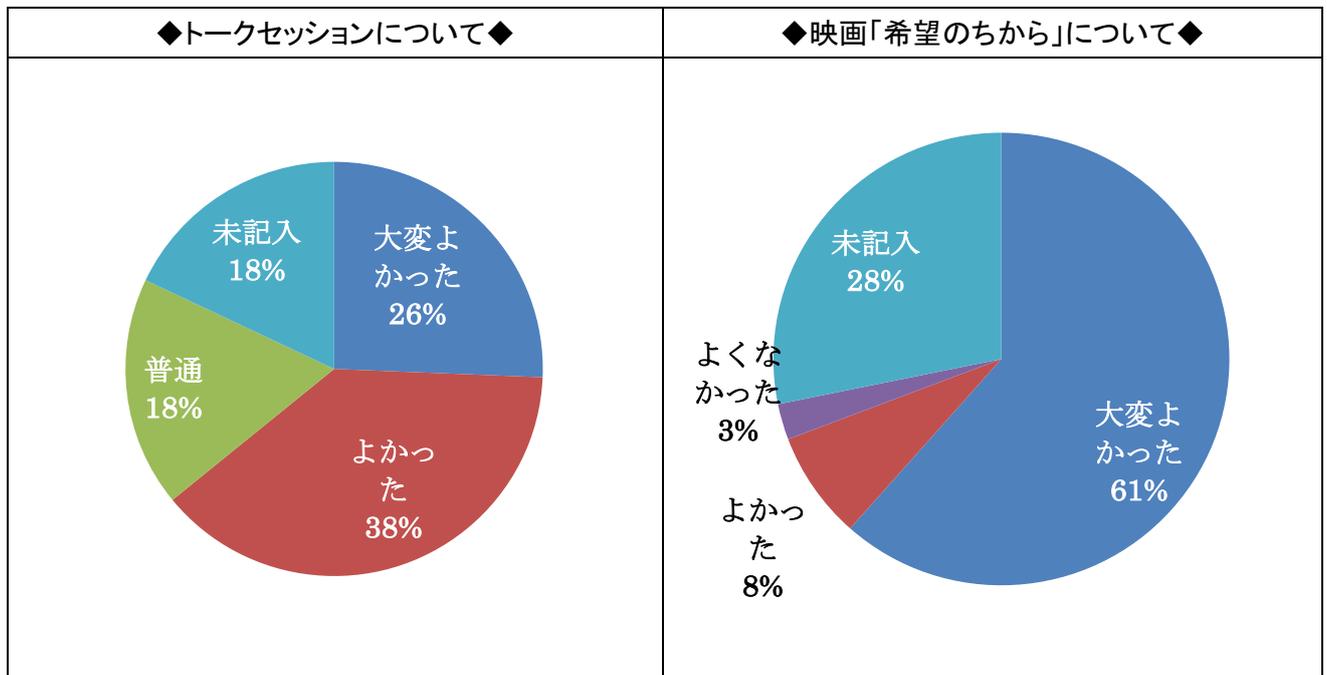
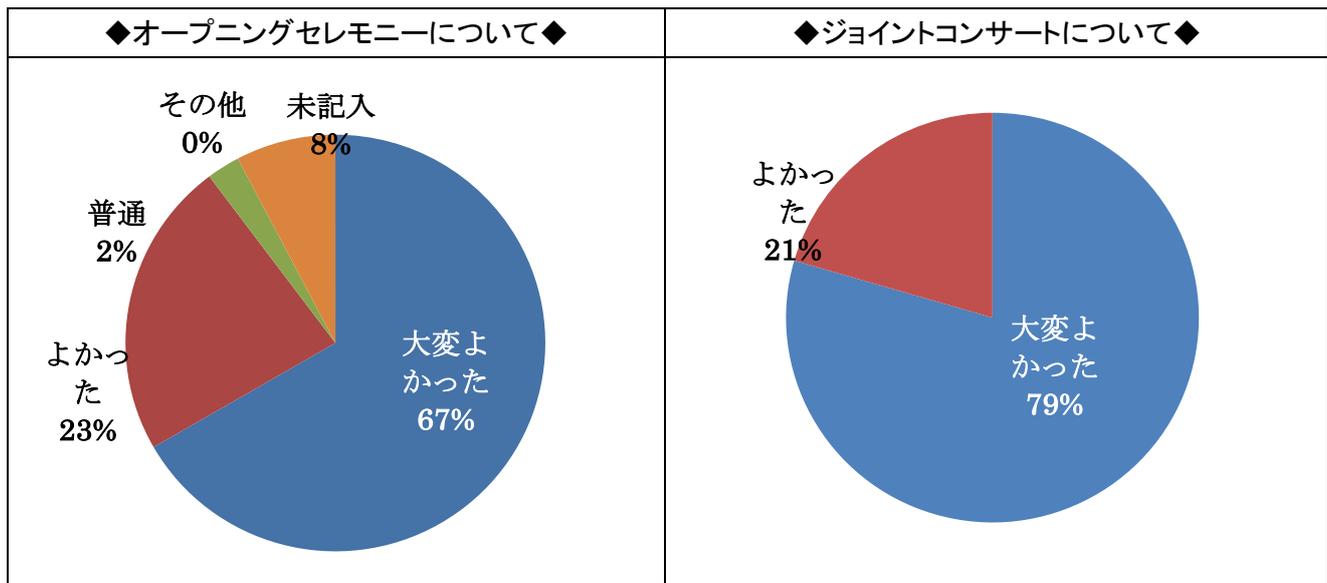
- ・高校生によるクリスマスソングの演奏
- ・臨床試験・治験に関する情報提供
- ・アンケートの実施

成果

今回のイベントにより、幅広い属性の参加者とがん医療について考えることができた。特に、地元高校生が参加してくれたことは特筆すべき成果といえる。また、図書館という不特定多数の市民が訪れる施設で開催できたことも多くのひととがん医療に関し情報共有ができたと思われる。今回の開催日が映画「希望のちから」に出てくるクリスマスのシーンと重なることもがんと闘う人々が一生懸命生きるために頑張っている印象を強くした。

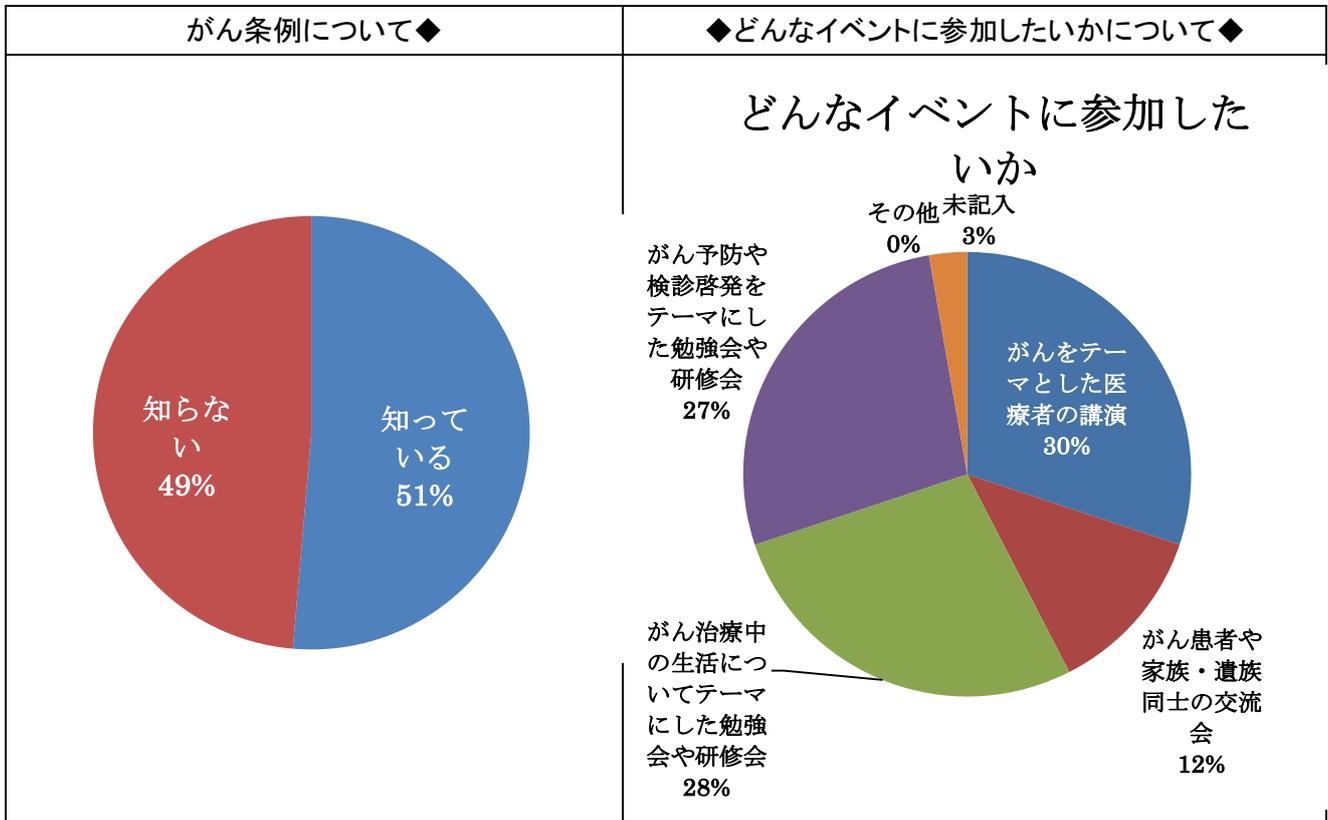
- ✓ 幅広い人々の参加によりがんに関する関心が高まった
- ✓ がん医療と臨床試験・治験に関する情報提供ができた

＜アンケートの結果＞



将来性～今後のビジョン～

アンケートに記入されていた自由記述によると、今後も今回のような健康に関するイベントへの期待が大きいことがわかった。また、がん対策推進条例についての認知度では約半数の人がこの条例を知っていた。今後は条例を活かすための提案等具体的な情報提供となるようなイベントを企画し、山梨県が「暮らしやすさ日本一」となることを目指したい。



開演前



会場の様子



トークセッション



山梨がんアクション協議会

〒400-0025

山梨県甲府市朝日 2-16-19

TEL/FAX 055-252-7687

このイベントは「山梨県新しい公共支援基金モデル事業」として行いました。